



きらくなたより

発行者 鈴木 忠好
発行月 R3年12月
編集者 坂口 洋一
No. 54

♪きらくなたより♪

新型コロナウイルスも今や旧型。少し収まってきたかと思えば今度はオミクロン株。御御(おみ)クロンと出世してきました。南アフリカで見つかり、はるか遠い国での出来事かと思えば、すぐに日本で発見。世界の狭さを一層感じさせられます。

なんとなくもやもやした感じで今年もくれよんとしていきます。わが会も毎月の例会は開いてきましたが、歌を唄うにも食べるのにも遠慮がち。今月も超ささやかな「忘年会のようなもの」が開かれる予定ですが、「通夜振舞い」のような静かな会になることでしょうか。

酒も長く飲まないでいると体が酒に弱くなるとか。そのせいか少しの酒ですぐに酔ってしまい、家計には優しくなっているようです。

包丁で刺した、火をつけた、息子に刺された等というニュースが後を絶ちません。詐欺の被害も同様ですが、お金持ちの高齢者が結構居るものだといつも感心させられます。被害にあった方には気の毒ですが、筆者のように金のない高齢者の所には一切電話が来ません。



どうしてわかるのでしょうかね。電話が来たら詐欺を詐欺にかけて捕まえてやろう、なんてひそかに計画しているのですが。「オレオレが 息子とわかって電話きり」といった川柳もあります。高齢者をそうバカにしてはいけません。お金持ちの高齢者の方くれぐれもご用心くださいませ。



見事に育ちました！ ↑収穫に当たった会員達

きらくな畑で丹精込めて育ててきた大根が、会員の若者たちの手で収穫されました。ちょっと前の女性会員達の、美しい脚を連想させるような見事な出来です。

頭をひもで縛られ寒さに備えた白菜も、これまた見事に育ち会員達に配られました。

「おいしゅうなれ、おいしゅうなれ！」
作る人たちの願いがこもった野菜たちです。



「とし」はもう 他人にあげたいほどで もういらない！

「起きたけど 寝るまで特に 用はなし」

お風邪などめしませんように・・・



「金」・ゴールド！

今年の漢字です。東京オリンピックもずいぶん前のように思えます。選手たちの頑張った金メダルにはコロナの事も忘れ、一時心を躍らせたものでした。そのような意味での「きん」なのでしょう。

「かね」と読むとこれは又、あまり縁のないものになりますし、同じ漢字でも取りようによっては人さまざまですね。来年はいい漢字になれば「いい感じ！」なんちゃって・・・